

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【公開番号】特開2015-196216(P2015-196216A)

【公開日】平成27年11月9日(2015.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-069

【出願番号】特願2014-74971(P2014-74971)

【国際特許分類】

B 24 B 9/14 (2006.01)

【F I】

B 24 B	9/14	A
B 24 B	9/14	D

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

加工済みレンズを保持する保持軸を持つレンズ保持手段と、加工済みレンズのコバに形成されたヤゲンに接触させる溝を持つ測定子と、を備え、前記測定子の移動位置を検知して加工済みレンズのヤゲン周長を測定する眼鏡レンズ周縁形状測定装置であって、前記保持軸に対して前記測定子を相対的に傾斜させる傾斜手段と、前記保持軸の軸方向に対する加工済みレンズのコバ面及びヤゲンが向く方向の少なくとも一方の傾斜角を取得する傾斜角取得手段と、前記傾斜角取得手段によって取得された傾斜角に基づき、加工済みレンズの動径角毎に前記保持軸に対して前記測定子を相対的に傾斜させるように前記傾斜手段を制御して加工済みレンズのヤゲン周長を測定する測定制御手段と、を備えることを特徴とする眼鏡レンズ周縁形状測定装置。

【請求項2】

請求項1の眼鏡レンズ周縁形状測定装置において、

前記傾斜手段は前記測定子を前記保持軸の軸方向に対して傾斜可能に保持する測定子保持ユニットと、前記測定子を傾斜させる駆動力を与える駆動部と、を有し、

眼鏡レンズ周縁形状測定装置は、前記測定子保持ユニットを加工済みレンズの動径方向に相対的に移動させる第1移動手段と、前記測定子保持ユニットを加工済みレンズの周方向に沿って相対的に移動させる第2移動手段と、を有し、

前記測定制御手段は、加工済みレンズの動径角毎に前記測定子がヤゲンに接触するように前記第1移動手段を制御すると共に、加工済みレンズの動径角毎に前記測定子がヤゲンに接触した状態で、前記測定子が前記傾斜角取得手段によって取得された傾斜角に応じて傾斜するように前記駆動部を制御し、また、前記測定子が加工済みレンズのヤゲンに沿って周方向に移動するように前記第2移動手段を制御することを特徴とする眼鏡レンズ周縁形状測定装置。

【請求項3】

請求項1又は2の眼鏡レンズ周縁形状測定装置において、

前記保持軸の軸方向における前記測定子の第1移動位置を検知する第1検知手段であって、前記測定子の傾斜角を検知する傾斜角検知手段を含む第1検知手段と、加工済みレンズ

の動径方向における前記測定子の第2移動位置を検知する第2検知手段であって、前記傾斜角検知手段を含む第2検知手段と、を備え、

前記測定制御手段は、前記第1検知手段によって検知された第1移動位置及び前記第2検知手段によって検知された第2移動位置に基づいて加工済みレンズのヤゲン周長を得ることを特徴とする眼鏡レンズ周縁形状測定装置。

【請求項4】

加工済みレンズを保持する保持軸を持つレンズ保持手段と、加工済みレンズのコバに形成されたヤゲンに接触させる溝を持つ測定子と、前記保持軸に対して前記測定子を相対的に傾斜させる傾斜手段と、を備え、前記測定子の移動位置を検知して加工済みレンズのヤゲン周長を測定する眼鏡レンズ周縁形状測定装置の動作を制御する制御装置において実行される眼鏡レンズ周縁形状測定プログラムであって、

前記保持軸の軸方向に対する加工済みレンズのコバ面及びヤゲンが向く方向の少なくとも一方の傾斜角を取得する傾斜角取得ステップと、

取得された傾斜角に基づき、加工済みレンズの動径角毎に前記保持軸に対して前記測定子を相対的に傾斜させるように前記傾斜手段を制御して加工済みレンズのヤゲン周長を測定する測定制御ステップと、

を備えることを特徴とする眼鏡レンズ周縁形状測定プログラム。